

ヒスパニック世界の形成と展開



国際言語文化学科 **松森 奈津子**

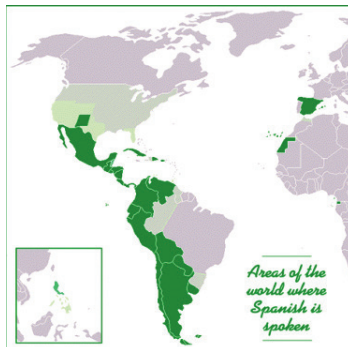
●連絡先 TEL.054-264-5263



ヒスパニック、スペイン、ラテンアメリカ、移民、多文化主義、共存、グローバリゼーション、大航海時代、カトリック

ヒスパニックとは、スペインと、ラテンアメリカやアジアにおけるその旧植民地諸国(メキシコ、キューバ、プエルトリコ、フィリピンなど)の人々や文化を総称する言葉です。近年は特に、ハイチ(フランス語圏)やブラジル(ポルトガル語圏)を含めたラティーノという言葉とともに、アメリカ合衆国最大のマイノリティ勢力を指す用語として、メディアなどで広く使われています。ヒスパニックの特色は、スペイン語を母語とし、カトリックの伝統に基づく価値観を共有する点にあります。我が国でも、この文化圏から日系を中心とする定住外国人の受け入れが進んでおり、身近な異文化の一つです。

私の研究は、こうしたヒスパニック世界が歴史的にどのように形成されてきたのかを、グローバリゼーションの端緒とされる大航海時代(15c.半~17c.半)を中心に明らかにするものです。また、この文化圏の人々が移民という形でアメリカや日本に定住する現代において、既存の社会との共存はいかにして可能になるのかを、多文化主義の観点から模索するものです。



スペイン語話者の分布

[出典：Spanish Language Domains <http://spanishlanguagedomains.com/the-spanish-language-the-facts-and-figures/>]



ヒスパニックの歴史的・文化的・宗教的背景をお伝えし、ビジネスや交流を望む自治体や企業とのかけ橋になればと思います。